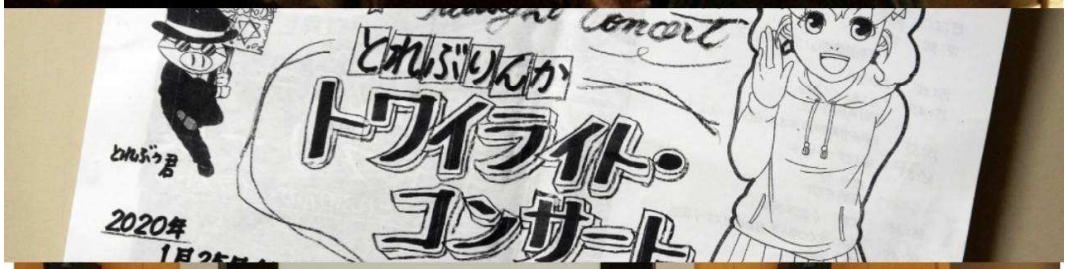
LIP in HIRAKATA

ＬＩＰ（りっぷ）は、枚方市民発の
福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの
情報を掲載する地域密着型情報紙です。

２０２０年３月号



〝みんなでつくる学校とれぶりんか〟のサタデーコンサートが約12年ぶりに復活。トワイライトコンサートとして1月25日に開催されました。多くの方に足を運んでいただき、ありがとうございました！
同時に、新事業「たゆらぎ」でクラウドファンディングもスタートしました。（裏表紙のイベント情報をご覧ください）
サタコン、次回は4月26日です。お楽しみに！（とれぶりんか　そふえ）

- [作家 鶴島緋沙子のもぐらの目 72] 永遠の我が師 瀬戸内寂聴
- うたかた話　格言・ことわざ（3）
- 講演『障害のある子どもの高校進学の今』で伝えたかったこと
- 今月の五行歌
- 秀作エッセイ　ドイツ～オーストリア旅行記（完）
- イベント紹介
- 編集局より／ＬＩＰ配布場所／会計報告

「**ＬＩＰ編集局**」 https://www.love-dugong.net/lip/

連絡先

メールアドレス：lip@love-dugong.net

TEL：070-5653-6913(18時以降)

郵便振替口座　00920-8-120259（ＬＩＰ編集局）

LIPとは……Local Information Paperの頭文字をとったものです。

「もぐらの目」～七十二～

永遠の我が師　瀬戸内寂聴

鶴島緋沙子

「もぐらの目」三月号に何を書こうかと考えていた時、そうだ、去年夫が亡くなったあと、何度もお電話を戴き、慰めのお言葉を戴いた寂聴先生のことをおいて何があるかと思い、おこがましくも「永遠の我が師瀬戸内寂聴」と題してこの文のテーマとすることにした。

そうだ、そう言えば二〇〇五年「私の中の瀬戸内寂聴」と題した私著を「トミーの夕陽」に続いて拓植書房新社から出版して戴くその時、上浦英俊社長から、「題名を～私の瀬戸内寂聴～としたらどうですか」と勧められたことを今でも鮮明に記憶している。

が、考えた末、

「いえ、やっぱり～私の中の～と～中～を入れて下さい」

と変えなかった。多分、～私の～と限定してしまう一人よがりのおこがましさが作用した私の遠慮だったのだ。

今なら「私の瀬戸内寂聴」と堂々と言えるかもしれない。というのは、先日携帯電話で先生とずいぶん長くお話した時に、

「二十年余りも前の「寂聴文章塾」時代の塾生だった頃から貴女は、優等生だった」

などと、何度もおっしゃって戴き、恐縮と嬉しさのあまり、右手に持った携帯を左手に持ち替え、今やハ十五歳になった皺だらけの自分の頼っぺたを思わず叩いたからである。

そう言えば寂聴先生は、大正生まれの九十七歳、私とひと回り違いの同じ戊年生まれ。揃ってキャンキャン吠えるところが、似てますね。などと笑い合ったことがあったっけ。

毎月、一日に催される寂庵の写経に参加すると、書き終わったらいらっしゃいと招いてくださり、いつも広いダイニングキッチンで、美味しいコーヒーとお菓子を戴きながらお喋りをさせて戴いている。何故かその時の私のささやかな手土産は「豚まん」なのである。仏様の前で写経するのに豚まんはないだろうと思うのだが、皆と一緒に写経をされ、お話をされるお肉大好きの先生の小腹おさめに程良いのではないかと勝手に決めて、熟々の豚まんを持参する。

今、改めて私著「私の中の瀬戸内寂聴」を読み返してみると、私は、先生が塾を閉じられたあと、塾生四人と共に当時大阪市立大学教授だった堀智晴先生、精神科医師故小澤勲先生、小学館編集者佐山辰夫氏、後には、関西大学学長の河田悌一先生にも加わって戴き『寂聴作品を読む会』を主宰している。当時、

「瀬戸内寂聴全集」（新潮社）が刊行され、それについて私は、こうも書いている。

――ずらりと並んだ真っ赤な地に金色の背文字。二十巻あるこの作品群を積ん読のまま、この身が朽ちるなんてことは決してあってはならない。それには一人で読むよりも仲間で読む方が続くだろう。そうだ一カ月に一度、寂庵に集まり寂聴作品を読むというのはどうだろう。何はともあれ著者に許しを得ずばなるまい。私は恐る恐る先生に電話をかけた。

「うんいいよ。会の名前は『寂聴作品を読む会』にしたらどう？　それから読んだ後、それぞれ原稿用紙三枚までの感想文を書いたらどうかしら。佐多さん（佐多稲子）にもそんな会あるのよ、連絡取ってみたら」と連絡先も教えて戴いた――

とのお言葉を戴いたことも書いている。

ちなみに毎年愛用している「寂聴日めくり暦」の今日、二月五日の言葉に

「私は同じ状態に続けることが嫌いです。知らない場所に行ったり、新しいことをするのがちっとも怖くないのです。いくつになっても変化があるほうが、毎日楽しいですよ」

とある。

私が今、大阪府高齢者大学校の「文芸を楽しく学ぶ科」他三クラスの講師を務め、ささやかなエッセーや掌編小説が書けるのも「永遠の我が師瀬戸内寂聴」あってこそなのである。

鶴島緋沙子さんは、山田洋次監督の映画「学校Ⅲ」の原作となった「トミーの夕陽」（つげ書房新社刊）などの作品で知られる枚方市在住の作家。「大阪府高齢者大学校エッセー文学科」「大阪府民カレッジひらかた校」等講師。著書『私の中の瀬戸内寂聴』『もぐらの目』など。「自閉症」の息子さんの母親であり、「枚方自閉症児(者)親の会」の元代表。

うたかた話（70）格言・ことわざ3

前回は事業に関することわざと、私の好きな詩を中心に書きましたが、今回は『今昔物語』の一節を紐解いて行きたいと思います。

ご存じの通り『今昔物語』はかの有名な芥川龍之介が彼の小説に多くの題材を取っているのでも有名です。彼の作品の『蜘蛛の糸』や映画になった『羅生門』もそうです。それはさておき、私が昔から時々使っている名前に〝流泉〟というのがありますがその謂われについて書いてみたいと思います。

私は〝流泉〟という名前をよく使っていますが、それが『今昔物語集』のお話に出ているのを最近発見しました。岩波文庫の『今昔物語集』を読んでいますと、『今昔物語集』の巻二十四の第二十三『源博雅の朝臣、会坂の盲の許に行きたる話』と云うお話しの中にそれは書かれていました。

『今昔物語集』のこの項は例により『今昔、源博雅朝臣と云う人有けり』で始まるのは何時もの通りです。

このお話しの〝源博雅〟と云う人は醍醐天皇の孫です。彼は著名な音楽家、管絃の名手で琵琶を絶妙に弾かれました。その源博雅が蝉丸に対して都に住まわれてはいかがと言われましたが、彼は敢えてそれを断り、何処に住んでも同じ事と会坂から動きませんでした。源博雅は琵琶の秘曲〝流泉・啄木〟の曲を蝉丸は弾く事が出来るという事で、蝉丸がその曲を何時弾くか、何時弾くかと毎日会坂まで通いました。三年後の八月十五日の夜に蝉丸は〝流泉・啄木〟を弾き始めました。

彼は喜び勇んで蝉丸を訪れ蝉丸と話をしました。同じ趣味の二人の事ですから朝まで話は尽きず話し込んだと書かれています。『今昔物語』には、このところは非常に文学的に書かれていますので、詳しく知りたい方は、『今昔物語集』を読まれると良いと思います。それ程難しい古文では無いと思います。〝流泉・啄木〟の琵琶の曲は死曲で今では誰も弾く事は出来ませんが、かつてはこういう曲が有った事は色々な文献から見ても確かなことだと思います。

この名前は勧められた時にも言われましたが、〝流泉・啄木〟の〝啄木〟は石川啄木に取られましたが、その前の流泉を君が使えば良いと言われました。

この名前を使う様になったのは私が高校時代からですから、今から70年ぐらい前の事に成りますが、その経緯は私がクラブ活動で文芸部に所属していた時に、当時の顧問の先生（松下先生です）と校庭で雑談をしている時に『君も文章を作るのなら君の〝号〟と云うか別な名前が要るだろう』と言われ、つい私も『号と云いますか別な名前があれば校内新聞もその名前で書く事も出来ます』と言ってしまいました。すると先生が『〝流泉〟という名前を使い給え、是は昔〝流泉・啄木〟という琵琶の名曲があってな、今では死曲で誰もこの曲を弾く人も知っている人も居ないけどね。啄木がこの〝流泉・啄木〟から啄木を取っているから、君は〝流泉〟を使うと良い。君も石川啄木を抜くほどの小説を書けば良い』と言って笑われました。

私はそれまでにも学校新聞やノートに小説まがいの物を書いていましたが、それ以降は早速とその名前を使う事にしています。

この名前はこのエピソード共に気に入っていますので未だに使っています。今でも気が向けば陶器など自分の作った物にその名前を記す事があります。この名前を付けて頂いた高校の文芸部の顧問をされていた国語の先生も既に鬼籍に入られていますが、未だに使わせて貰っています。

最近になって、〝流泉・啄木〟の琵琶の秘曲が存在し、すでに死曲になっている事を知り、私の名前の始まりの経緯を書いて見たくなりましたので『今昔物語』の解説と共に綴ってみました。

次回は又〝格言〟に戻る様にします。

✎ 小田川徳男

講演『障害のある子どもの高校進学の今』で伝えたかったこと

昨年、枚方自閉症児（者）親の会主催の講演会で、『障害のある子どもの高校進学の今』というテーマで話をさせていただきました（10 月 25 日、ラポールひらかた）。その講演の中で私がぜひ伝えたかったことを文章にまとめてみようと思います。

高校生としてあたりまえの学校生活を

ぜひ伝えたかったことのひとつが、私がかつて、障害のある生徒が学ぶ公立高校で支援員をしていたとき、大切にしていたポリシーについてです。

それはまず、「高校生としてあたりまえの学校生活を保障すること」。

障害のある生徒への支援を考えるとき、学習をどうする、授業をどうするという、いわゆる「正課」への対応ばかりが注目されがちですが、私はそれはちがうと思っています。

あたりまえの学校生活とは、けっして教科の勉強だけではなく、たとえば、友だちと休み時間にはしゃぐこと、放課後に買い食いしてダベルこと、ケンカしてまた仲よくなること、将来の夢を語り合うこと、体育祭の準備にみんなで遅くまで居残って汗を流すこと、文化祭のステージでスポットを浴びること、クラブ活動で仲間と競いあい励ましあうこと、先生の雑談から人生を教えられることなど、そこで学ぶ生徒たちが普通に経験するすべての時間をひっくるめたものです。

高校の教育の意義は、おとなになる一歩手前の時期に、人との関わりの中でさまざまな体験をして、自分を知り、生きかたを学んでいくところにあるのだと思います。障害のある生徒にも、そうした幅広い学びが保障されなければなりません。

その子と支えあえる子どもたちをつくる

次に大切にしていたポリシーが、「自分が囲い込まず、生徒どうしの関わりを後押しすること」。

支援員という仕事は、障害当事者の生徒を囲い込むことになりやすいです。というのは、学校からは生徒からずっと目を離さないことを求められがちだし、そばにべったりついて細々と世話を焼いたほうが、どうしても「仕事した感」が得られやすいから。「自分がいないと、この子はダメだ」みたいな心境におちいると、それは快感にもなってきます。

しかし、前に書いた「高校生としてあたりまえの学校生活を保障すること」からすると、おとながずっとついて目を光らせているというのは、高校生としてあたりまえではないし、カッコ悪いし、うっとうしいことです。自分がその生徒の立場だったら、絶対にごめんこうむりたい。

だから支援員は、できるだけ、その子から離れたところで見守るぐらいがいいと思います。ケアの都合で離れられない場合でも、けっして囲い込まずに、関係を外に開いてやる。そうすると、ほかの子どもたちとの関わりが自然に生まれてくることを、私は経験してきました。

支援員がどれだけいいサポートをする人だったとしても、その子のことを一生、支援することは無理でしょう。子どもの将来の自立を考えるならば、自分だけが支援しようとするよりも、その子と支えあえる子どもたちをたくさんつくっていくことが、支援員のつとめなのだと思うのです。

この私が大切にしていたポリシーは、「ともに学ぶ教育」の運動に関わっている人たちには、すっと納得いただけるものだと思います。でも、学校現場には、まだまだ、こうした考えかたは広がっていません。そこで、この講演の中で、ぜひ、みなさんに伝えたかったのでした。

大阪の高校進学はいま危機的状況

私がぜひ伝えたかったことの、もうひとつ。それは、日本でいちばん進んでいるといわれる大阪の障

害のある生徒の高校進学がいま、危機的状況にあることです。

他の地域では、障害のある生徒は、受験者が募集定員に満たなくても入試で落とされる（定員内不合格）ことがまだまだ多いなか、大阪ではここ 10 年以上、募集定員内であれば全員合格という原則が守られており、定員割れの高校を中心に、“重度”の障害のある生徒たちも入学してきました。

ところが、2012 年に成立した「大阪府立学校条例」の「入学を志願する者の数が３年連続して定員に満たない高等学校で、その後も改善する見込みがないと認められるものは、再編整備の対象とする」という条文によって、定員割れの高校は統廃合されることになりました。

それで、下記のように、障害のある生徒の受け入れ実績をもつ高校が次々とつぶされてきているのです。

・2017 年度　池田北高校、咲洲高校の閉校
・2018 年度　西淀川高校を北淀高校に統合
【淀川清流高校】
大正高校を泉尾高校に統合
【大正白稜高校】
能勢高校の改編（豊中高校の分校に）
・2019 年度　柏原東高校を八尾翠翔高校に統合
長野北高校を長野高校に統合
・2020 年度　勝山高校と桃谷高校（Ⅰ部・Ⅱ部）を統合　【大阪わかば高校】

また、西成、長吉、箕面東、成城、岬、布施北、淀川清流、和泉総合の各高校は、2015 年度から順次、小・中学生レベルの学び直しをする高校「エンパワメントスクール」に改編されています。これらも多くが障害のある生徒の受け入れ実績をもつ高校ですが、「学び直し」に特化することによって、多様性を失い、排除される生徒が出ていると思われます。

大阪の教育の豊かな価値が失われる？

一方、障害のある生徒の中学卒業後の進路として、下記のように特別支援学校の新設が積極的に進められています。

・小学部・中学部・高等部をもつ支援学校の新設（2013～2015 年度）

摂津支援学校（豊能・三島地域）、枚方支援学校（北河内地域）、西浦支援学校（中・南河内地域）、泉南支援学校（泉北・泉南地域）、東住吉支援学校（大阪市）、東淀川支援学校（大阪市）

・高等支援学校の新設（2013～2015 年度）

とりかい高等支援学校（摂津支援に併設）、むらの高等支援学校（枚方支援に併設）、　すながわ高等支援学校（泉南支援に併設）、なにわ高等支援学校（難波支援に併設）

そして、2018 年３月の 「府立支援学校における知的障がい児童生徒の教育環境の充実に向けた基本方針」では、下記のように、特別支援学校をさらに増やしていくことがうたわれています。

・府立高校内に支援学校分教室の設置：2021～2025 年度
・知的障害支援学校の新設（閉校した府立高校などを活用）：2023～2025 年度

憤りを覚えるのが、「閉校した府立高校などを活用」とされているところです。せっかくインクルーシブ教育を実現していた高校をつぶして、そこを特別支援学校に変えるなんて、全く時代に逆行するものじゃないですか。

いま、大阪の公立高校では、多様な生徒たちが学びあえる環境がつぶされ、「分ける」方向にひた走っているのです。それは、これまで長年にわたって育まれてきた大阪の教育の豊かな価値を捨てることになるのではないでしょうか。

私は、障害のある子どもの高校進学に取り組んでいる私たちが、この動きにほとんど抵抗できなかったことを、くやしく思っています。事態はもう取り返しのつかないところまで来ているのかもしれません。でも、あきらめず、同じ思いをもつ人たちとともに、何ができるかを考えていきたいです。

フリーランス・ライター　合田享史

LIPが選ぶ

今月の五行歌

子たちが
帰ったあとの部屋
くずかごに
空のポチ袋
ひとつ

倭

拾っただけで
こんなに嬉しいんだ
毎年
豪栄道（武隈）が来る
春日神社の節分

坂口壽樹

苦手な人がいる
その人の言動に
いちいち反応してしまう
馬鹿な
私

まゆみ

五行歌（ごぎょうか）とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会が、8月を除き月一度メセナひらかた会館にて歌会を行っています。
（連絡先：akkie.toyotaka@gmail.com
または 090-5893-5635・豊高）

ドイツ～オーストリア旅行記（3）

2019年7月15日　佐藤宏一

8．周囲はアルプス山脈がそびえる町
Salzburg　ザルツブルグ市（オーストリア・ザルツブルグ州）15万人人口　標高424m
2019年6月24日
旧市街地には、モーツアルトの生誕地　1756年生、銅像の前で記念撮影。ザルツブルグ大聖堂は、創建774年、中を見学、神聖な場所である。ホーエンザルツブルグ城　メンヒスブルグ山の山頂にそびえる。レジデンス広場から見上げる。アルプスの山々とザルツァッハ川の雄大な自然が広がる。サウンド・オブ・ミュージックの舞台として有名である。

9．ドイツ木組みの家を初めて見る
Michelstadt　ミヒエルシュタット
2019年6月27日
ドイツ中部のホーデンワルト山地にある町
1484年建造　絵本に出てくるような、とんがり屋根の旧市庁舎。ドイツ木組みの家街道。マンハイムから、車で1時間ちょっとである。緑あふれる牧場が広がる。大きな無料の駐車場から散策。ドイツ木組みの家が飛び込んで来る。エキゾチックな光景だ。地ビールを製造しているレストランで昼食。ちょっと色濃いヴァイッエンビアで乾杯。牛肉&豚ステーキが美味しい。外気温31℃だが、カラッとした暑さである。

10．歴史の街を感じる
Worms　ヴォルムス　2019年6月28日
ヴォルムス駅は、マンハイムから電車で30分。落ち着いた雰囲気の町である。マルティン・ルターの銅像がある。ドイツの神学者、大学教授で宗教改革を始めて500年。銅像の前で記念撮影。ヴォルムス大聖堂は、緑に囲まれた道を一周して正門に出る。1200年建造、ロマネスク建築、全長110m×幅27m。黄金のマリア像が威厳を保っている。
前の広場にあるカフェバーのテラスで昼食。ヴァイッエンビアとイタリアワインで乾杯。

11．帰国の途に就く
猛暑のマンハイム　2019年6月29日
ルイゼン公園　外気温34℃　湿度40～50％
午後の西日を受けて室内気温が上がる。公園の緑を求めて散策。木陰は、まずまずの涼しさ。直射日光を浴びるとさすがに暑い。それでも、芝生の上に半裸で寝ている女性がいる。日本では見られない光景である。帰路、アジア食材スーパー、および一般スーパーで買い物。品種も多くなんでも揃っている。ドイツ人の旦那さんと一緒に買い物していた日本人女性と会う。久しぶりに日本語が喋れたと喜んでくれた。10日間滞在して初めての日本人である。歩数1万歩、5．3km。
翌日の30日は、気温41℃を記録。その日のうちにフランクフルトから帰国の途に就く。
2019年7月1日19時　無事に大阪は吹田の家に帰る。気温23℃である。湿度70％。蒸し暑い。
（おわり）

イベント・サークル・ボランティア情報

第22回「障害」のある子どもの高校進学を考える学習会

皆さま、お子さんが「知的な障害」があるから、高校受験は無理だろうなあ～ましてや、進級・卒業は無理やろなぁ～と、お考えではありませんか。そんなことはありません。是非、この学習会に参加していただき、お子さんの願いを叶えられますように、高校進学について、ご一緒に考えてみませんか。

○日時：３月29日(日)　13：30～17：00
○場所：ラポールひらかた３階研修室１
○内容：1.お祝い：成人・卒業・合格おめでとう！
2.「障害」のある生徒の高校受験について　片岡次雄さん
3.講演　私が体験したこと・考えたこと
①子どもの高校受験と高校生活　島田直子さん
②娘との歩み：地域で、小・中・高を過ごし卒業し、NPO法人「たゆらぎ」を立ち上げて……
＊問合せ先　関山090-2599-6162 松森090-1960-3409
＊主催　知的障害者を普通高校へ北河内連絡会
＊共催　寝屋川市の義務教育における医療的ケアを考える会
＊後援　大阪府教育委員会（大阪府教育庁）

枚方自閉症児（者）親の会

お母さん、一人で悩んでいませんか？ 障害があってもなくても、みんなと一緒に成長していきましょう。
おじいちゃん、おばあちゃんも歓迎です。
■３月例会 ３月９日（月） 10時～12時
■４月例会 ４月20日（月） 10時～12時
※場所はいずれも、ラポールひらかた４階共用ルーム
※連絡先　松崎 072-845-3014　春名 072-397-0053

「人間関係・家族関係を上手につくる心理学スキル講座」

内容：人間関係を見直す心理学的スキルを紹介します。
◆日時：3月19日（木）14時～16時　第2講義室
　場所：寝屋川市立　エスポアール
◆日時：3月26日(木)19時～21時　研修室4
　　4月8日(水)13：30～15：30　研修室2
　場所：ラポールひらかた
◆日時：4月1日（水）10時～12時 研修室206
　場所：交野市立　青年の家
参加費：無料　http://www.npo-ksc.net
申込・問合先：NPO法人京阪総合カウンセリング
TEL 072-814-7140　メール jimu@npo-ksc.net

枚方市駅周辺再整備計画　抜本的に見直そう！市民のつどい

■日時：３月20日(金・休)　13～16時
■会場：枚方市民会館　第５集会室（2階）
■主催：平和で豊かな枚方を市民みんなでつくる会
072-846-8780　090-7096-4719(高松昌子)
■参加費　参加協力金600円
講師：遠藤哲人さん(土地区画・再開発対策全国連絡会　事務局長)
テーマ　公共性や共同性を大切にした住民主権のまちづくり

「第６回　寝屋川ハート・アート展」

寝屋川市で開催される、精神科クリニックや病院、地域の作業所などに通われているメンバーさんの合同作品展示会です。市民ギャラリーをお借りしてのOPENなイベントです。
◆日時：3/22(日)～3/24(火)
◆会場：寝屋川市市民ギャラリー（1）内
（駅前図書館内　大阪府寝屋川市早子町23-2）入場料無料
◆主催：精神障害者地域交流事業Club　E&T
◆HP　http://neyagawaheart-art.jimdo.com/

「山本健治さんの世相を切る」

日時：３月29日(日)14時～16時
場所：交野市ゆうゆうセンター3F研修室
（ＪＲ河内磐船駅歩２分または京阪河内森駅歩６分）
講師：山本健治さん(TVコメンテーター・元府議会議員)
参加費：５００円
主催：憲法とくらしを考える会
連絡先：072-892-4938(松村)
新型コロナウィルスが猛威をふるっています。果たして政府の対策は万全だったのでしょうか？国会では「桜を見る会」疑惑やＩＲ汚職問題等の追及がなされています。私たちも山本健治さんと諸問題について考えてみませんか？参加をお待ちしています。

木村英生写真展
私が見てきた「被災地」福島２　～復興ってなんだろう～

福島県の原発事故被災地に行くと、ニュースにはあまり出てこない姿や声を見聞きします。本当の“今”は知ろうとしない限り知ることはできないのが現状です。今年も昨年に引きつづき、原発事故が引き起こした現実をお伝えする写真展を開催します。
■写真展
場所：アネックスパル法円坂　１階市民ギャラリー
（JR環状線　森ノ宮駅下車西に徒歩８分）
会期：２月19日(水)～３月31日(火)
時間：9：30～20：00(日祝は17時まで)最終日は16時まで
■記念講演会「原発事故被災地の今と復興を考える」
日時：３月14日(土)14：00～16：30
場所：アネックスパル法円坂　　参加費：無料
講師：木村英夫生（あいむひぁ大阪・大阪市立中学校教員）

「会員さん募集」

ウツや双極性など波のある人
当事者が当事者のアイデアで自立を目指す
体調の良い時は普通に暮らせるけれど、体調が落ちる事があって、継続した仕事が無理だったり、信用を無くしてしまったり。お互いが波を支え合う形で、一緒に自立を目指しませんか。
マイノリティ向け少人数制の新しいスタイルな居場所やってます。弊会代表はLGBTオバサンです。それ以外はもちろん福祉系のこと何でも色々と話し合いませんか。

「生活保護の相談」

生活保護は息苦しいから早く抜けたい、生活保護を安定して受給したい、情報が欲しい。仕事しないと保護を切ると言われた。介護費用は自腹と言われた。職員に相談しても良い結果が出ない。申請同行から受給中の権利擁護や日常の病院買物付添・保護からの自立など、何でも相談できます。一緒によりよい人生を目指しませんか。

NPOエンパワセツルメント 枚方市宮之阪1-16-4
代表 竹谷綾　070-5653-6124 info@jp-hitori.net
[エンパワセツルメント]で検索

音楽でリフレッシュ！

快い音でゆったりとした楽しい時間を仲間と一緒に思いっきり声を出して心身共にリフレッシュしませんか？
◆日時：３月７日(土)13：00～14：30
　場所　南部生涯学習市民センター　２階音楽室
◆日時：３月26日(木)14：00～15：30
　場所　サンプラザ生涯学習市民センター　５階視聴覚室
※参加費：500円（初回無料）
　申し込み・問合先　音楽でリフレッシュ！　担当：中嶋
　　ＴＥＬ：０７２－８４０－５４９３

● 新型コロナウイルス感染防止のために、催しが中止・延期になる可能性があります。主催者にお問い合わせください。●

LIPは、次の場所に置かせていただいてます。

☆ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかたNPOセンター
☆ 枚方市ボランティアセンター ［ラポールひらかた内　072-841-0181］
☆ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた ［枚方市招提南町 2-50-1　072-850-4400］
☆ コミュニティーカフェ ラ テール ［枚方市西禁野 1-3-27 禁野口バス停前　072-848-0418］
☆ NPO法人 りりあん ［枚方市長尾元町 6-39-15　lilian@kcat.zaq.ne.jp］
☆ 婦人洋品店 シャルム ［枚方市南楠葉 1 丁目 2-16 くずは公民館向かい　072-850-1362］
☆ 喫茶 Dik Dik ［枚方市岡本町 8-17　072-846-5377］
☆ 街かどデイハウス 藤阪愛逢 ［枚方市藤阪元町 2-27-1　072-855-6978］
☆ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび ［枚方市南楠葉 1-30-1 エクセレント辻ビル 203 号室　072-856-9177］
☆ 泉屋 楠葉店 ［枚方市楠葉並木 2-2-2　072-868-3060］
☆ WAVE34（ボウリング場） ［枚方市田口 4-11-8　072-848-0450］
☆ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ ［枚方市堤町 2-1-103　072-861-6360］
☆ 京阪総合会計事務所 ［枚方市西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301　072-805-5252］
☆ ヘアースタジオぱぺぽ ［枚方市南楠葉2丁目 4-3　072-850-9070］
☆ 枚方市役所（市民活動課・環境総務課・人権政策室） ［枚方市大垣内町2丁目 1-20　072-841-1221］
☆ 枚方市役所 津田支所 ［枚方市津田北町 2-25-1　072-858-1502］
☆ (財)枚方市文化国際財団 ［枚方市岡東町 8-33 市民会館内　072-843-1122］
☆ 枚方市総合福祉センター ［枚方市津田東町 2-26-1　072-858-5835］
☆ (社福)やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ぱぴるす ［枚方市大字尊延寺 2200　072-859-0245］
☆ NPO法人パーソナルサポートひらかた ［枚方市中宮山戸町 10-12-105　072-848-8825］
☆ 自閉症療育センター Link ［枚方市岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階　072-841-2411］
☆ 「市民の広場」ひこばえ ［枚方市大垣内町 2-8-27 シンエービル別館 A 室　072-846-8780］
☆ 紅茶専門店VIE ［枚方市南楠葉 1-1-34　072-856-2355］
☆ shot bar カボチャソース ［枚方市牧野下島町 14-22　072-809-7676］
☆ ポパイ商店 ［枚方市山之上2丁目 16-9　072-846-7232］
☆ えほんのお部屋ひまわり畑 ［枚方市香里ケ丘 12 丁目 6-28　090-6739-7064］
☆ クッキー工房おれんじはうす ［枚方市交北3丁目 3-10　072-856-8378］
☆ 陶器食器のお店 a new sprout ［枚方市堤町 2-14　072-846-9550］
☆ 雑貨／カフェ ルポ・デ・ミディ ［枚方市堤町 10-12　072-843-1525］
☆ 渦潮ベーカリー楠葉店 ［枚方市町楠葉 1-30-6　072-856-5420］
☆ 輝きプラザ「きらら」 ［枚方市車塚 1-1-1］
☆ 教育文化センター ［枚方市磯島北町 37-1　050-7102-3150］
☆ 三代目たくちゃん ピーコ ［枚方市牧野阪2丁目 7-30　080-3785-1728］
☆ MIKIHOUSE キャラメル ［枚方市牧野阪 2-9-15-105　072-857-6626］
☆ 株式会社 丸天酒店 ［枚方市牧野阪 2-5-23　0120-39-7003］
☆ MogaJogaDining 枚方宿 ［枚方市堤町 2-15　072-846-3535］
☆ カフェレストラン風鈴火山 ［枚方市牧野阪 2-5-19　072-856-3799］
☆ とくふうホーム ［枚方市大字尊延寺4592−24　072-858-4058］
☆ 音楽療法スペース　ウッドヴィレッジ ［枚方市牧野下島町 9-12　070-857-3540］
☆ みんなでつくる広場「ちょこっと」 ［枚方市楠葉野田 2-30-8　072-856-9439］
☆ スパバレイ枚方南 ［枚方市津田山手 1 丁目 24-1　072-808-4126］
☆ やすらぎの丘霊苑 ［枚方市大字尊延寺 4588 番 4　072-896-1212］
☆ 苺のいえ ［枚方市甲斐田町5番25号ウエストヒルズ102号 072-805-2660］
☆ ちいさいほいくえん みんなの里 ［枚方市楠葉並木 2-28-4　072-845-6814］
☆ 韓国茶が楽しめるカフェ「Cafe Cajjo」 ［西禁野 1-6-28　072-848-8481］
☆ くずはアートギャラリー ［枚方市楠葉花園町 15-1-Z302 本館ハナノモール 3 階］
☆ カフェ ル ポン ［枚方市高田2丁目 20-17　072-396-8785］
☆ 街かどデイハウス秋桜 ［枚方市宗谷 1-1-1　072-859-3991］
☆ 明日花障害者作業所 ［枚方市西禁野1丁目 3-18　072-848-2324］
☆ 陽だまりの会 ［枚方市交北 2 丁目 7-15　072-809-0015］
☆ Lin Brun. ［枚方市牧野下島町 18-7　072-865-3514］
☆ カミュゥ ［枚方市牧野下島町 13-11　072-865-7310］
☆ 尊延寺公民館 ［枚方市尊延寺 3 丁目 3－16　072-859-0168］
☆ ひねもすぱんのかふぇ［枚方市堤町 10-24 鍵屋別館 1 階 090-5963-0590］
☆ まことの豆富 燈 本店 ［枚方市楠葉中町 1-5 072-855-6022］
☆ 雑貨&cafe くろねこ・くぅ ［枚方市片鉾東町 20-1　072-896-9690］
☆ 京阪総合カウンセリング ［枚方市新町 2-1-9 ほーむ 21 新町 106 号 072-814-7140］
☆ NPO 法人 枚方人権まちづくり協会［枚方市岡東町 12-1-502 072-844-8788］

◇　◇　◇　◇　◇

☆ フレッシュベーカリー ラッキー ［寝屋川市早子町 18-1　072-821-0413］
☆ 小規模通所授産所施設 ミルキーウェイ ［交野市天野ヶ原町2丁目 14-20］
☆ 青年の家 ［交野市私部2丁目 29−1　072-892-7721］
☆ 大阪市総合生涯学習センター ［大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第 2 ビル 5 階 06-6345-5000］
☆ 「月桃の花」歌舞団 十三スタジオ ［大阪市淀川区木川西 3-4-20 2F　06-6885-8475］
☆ ふらっとねやがわ ［寝屋川市東大利町 2-14（市立産業振興センター5 階）　072-800-5789］
☆ ふれあいプラザ香里 ［寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園店1階 072-835-3335］
☆ 交野市役所内わいわいネット ［交野市私部 1 丁目 1-1］
☆ Cut wa Coconi ［交野市梅が枝 55-13 072-893-0020］
☆ ヘアーサロンおおまち ［交野市私部 3-17-2 072-891-5024（予約優先）］
☆ 和食「ふる里」 ［三重県伊賀市長田 2541-1 0595-21-4498］
☆ 大阪府衛生会附属診療所 ［高槻市奈佐原 955　072-696-3351］
☆ 西宮男女共同参画センター ウェーブ ［西宮市高松町 4-8　0798-64-9495］
☆ 大東市立生涯学習センター アクロス ［大東市末広町 1-301　072-869-6505］
☆ フェルデンハウス北斗星 ［寝屋川市萱島東1丁目 16-15　070-5435-1965］
☆ 大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）
［大阪市中央区大手前 1 丁目 3-49 06-6910-8500］

イラスト　表紙：平井由恵

応援ありがとうございます♪

ＬＩＰ応援団

知的障害者を普通高校へ北河内連絡会、匿名希望さん

ＬＩＰ会計報告（前号以降）

金額(円)	内容
17,641	前号から繰り越し
2,300	書籍売上
3,000	応援団寄付
▼420	郵送代
▼500	２月ロッカー代
▼4,400	２月号印刷代
17,621	計（次号へ繰り越し）

■ＬＩＰは市民が書き、市民が読む、地域密着型情報紙です。あなたも紙面に登場してみませんか。

◆障害福祉『ショートスティみっきぃ』が、4 月に枚方公園(駅徒歩 10 分)にオープン予定
若者の居場所『一汁一飯食堂』も併設して、スタートします！
詳細は、ホームページをご覧ください。
https://tayuragi.com/
【NPO 法人たゆらぎ】で検索可。
只今、クラウドファンディングも実施しています。ぜひとも、応援・ご協力をお願いします！

★★夜勤スタッフ&ボランティア募集中★★
☆午後 3 時～翌午前 9 時までの間で相談に応じます。(夜勤スタッフ 2 名以上の為、交代で仮眠できます。)
☆午前７時半～９時半　送りの運転手(スタッフ同行)
☆ボランティアは、夕方の見守り&調理のお手伝い等

☆詳細は、直接問い合わせ下さい。
tayuragi@swee.info
090-9167-7187(井村)

ひらつー
「枚方市民にだけ」
読んでほしい情報サイト
枚方つーしん　検索